

宮城県感染症発生動向調査情報

令和03年07月29日発行

2021.7.19 ~ 2021.7.25 - 第29週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第26週	第27週	第28週	第29週
水痘	1 0.25							1 0.02	257					
流行性耳下腺炎								4 0.15	4 0.07	88				
感染性胃腸炎	4 1.00	12 1.20	4 0.80	19 9.50	7 2.33	11 2.20		37 1.37	94 1.62	3,729	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.25							3 0.11	4 0.07	74				
伝染性紅斑	3 0.75								3 0.05	35				
突発性発しん		5 0.50	4 0.80		1 0.33	8 1.60	1 0.50	12 0.44	31 0.53	848	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ	1 0.25							1 0.04	2 0.03	17				
インフルエンザ									0 0.00	10				
咽頭結膜熱		1 0.10		2 1.00		2 0.40		8 0.30	13 0.22	439	レ			
流行性角結膜炎			1 1.00					2 0.33	3 0.25	41				
急性出血性結膜炎						1 1.00			1 0.08	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.25	1 0.10	1 0.20			8 1.60		3 0.11	14 0.24	704	○	○	レ	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎									0 0.00	32				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	136 34.00	73 7.30	33 6.60		8 2.67	37 7.40	14 7.00	156 5.78	457 7.88	3,840	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)						4							
	川崎病							1						
	不明発疹症							7						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核
塩釜管内 男性1名

3類感染症: 細菌性赤痢
石巻管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症
栗原管内 女性1名(O型不明)
仙台管内 女性1名(O157)

4類感染症: レジオネラ症
塩釜管内 男性1名
仙台管内 男性2名

5類感染症: アメーバ赤痢
仙台管内 男性1名
カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名 (Enterobacter cloacae)
梅毒
仙台管内 男性2名, 女性1名
百日咳
仙台管内 男性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症
仙南管内 男性2名, 女性4名
塩釜管内 男性13名, 女性4名
大崎管内 男性2名, 女性2名
栗原管内 女性1名
登米管内 女性1名
石巻管内 男性1名, 女性2名
気仙沼管内 男性20名, 女性2名
仙台管内 男性32名, 女性15名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【急性出血性結膜炎】

石巻管内で警報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

登米管内 第29週採取分 SARS-CoV-2 1件
石巻管内 第29週採取分 SARS-CoV-2 2件
気仙沼管内 第29週採取分 SARS-CoV-2 2件

呼吸器感染症患者より

塩釜管内 第27週採取分 RSウイルス 1件
第28週採取分 パラインフルエンザウイルス3型 2件
パラインフルエンザウイルス3型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		
	第26週採取分 (6.28~7.4)	中間報告 第27週採取分 (7.5~7.11)	報告 第28週採取分 (7.12~7.18)
RSウイルス	0件	2件	1件
アデノウイルス	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	6件	16件	2件

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

上下気道炎を引き起こす代表的なウイルスであるRSウイルスによる呼吸器感染症で、主に小児にみられます。今週は457名で第28週の737名から減少しましたが、4連休による医療機関の休診の影響も考えられるため、引き続き注意が必要です。特に仙南、塩釜、大崎、石巻及び気仙沼管内で多くみられます。感染者のせきやウイルスの付いた手やおもちゃなどを触ったり、なめたりすることで感染するとされていることから、流水と石けんによる手洗いやアルコール製剤による手指消毒を励行してください。

【小児の呼吸器感染症】

現在、小児を中心にRSウイルスが流行中ですが、呼吸器症状を呈する小児からパラインフルエンザウイルス3型が検出され、仙台医療センターウイルスセンターでも分離報告が続いています。パラインフルエンザウイルス3型は、幼若乳児ならびに易感染性状態にある小児および成人に肺炎や細気管支炎を引き起こします。RSウイルス感染症に近い症状で、より軽症であることが多いとされています。このウイルスによる感染症は感染症発生動向調査の対象となっておりませんが、県下における小児の呼吸器感染症の流行の一因と考えられますので、注意が必要です。手洗いなどの予防の徹底に努めましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

